

2) 国道45号線陸前高田付近の2地点

表4-14に2地点の沈下量推定結果と道路防災点検のデータの一部を一覧表として示した。

この表から、2地点は換算水平震度が0.6と大きく、評価点数も11点と高いために推定沈下量が大きい結果となっている。

道路防災点検データから、評価点数を上げている主な要因を抽出すると、F060地点は「盛土が高い」、「基礎地盤がやや軟弱である」、「変状が認められる」という点であり、F065地点は「基礎地盤がかなり軟弱である」、「地下水位が高い」という点が上げられる。

次に2地点を地形分類図上にプロットしたものを、図4-11に示す。図幅ではF060地点は小起伏山地に位置しており、山中の盛土であるため防災総点検データでも傾斜地の片切・片盛土となっている。一方F065地点は河川沿いの橋梁取付け盛土であり、図幅では自然堤防に位置する。

以上からF060地点では原地盤が液状化する可能性は少ないが、F065地点では原地盤が液状化する可能性が考えられる。

表 4-14 沈下量推定結果および道路防災点検のデータ一覧(陸前高田付近の2地点)

地点番号		F060	F065		
沈下量 推定結果	緯度	38.995694	39.000861		
	経度	141.625694	141.625417		
	評価点数	11	11		
	計測震度	6.079	6.076		
	換算水平震度	0.6	0.6		
	推定沈下量(m)	1.09	1.09		
道路防災総 点検のデー タ	所在地	陸前高田市気仙沼町字田之浜			
	地形	傾斜地(片切・片盛土部)			
	地山勾配	29.25			
	集水地形	良好			
	基礎地盤	やや軟弱			
	地下水位	地下水位が中位			
	盛土高さ(m)	上	下	上	下
		13.0	同一	6.6	6.6
	法面勾配	上	下	上	下
		標準勾配を満 足していない	同一	標準勾配を満 足していない	
写真・ スケッチ	・被災履歴なし、変状あり				

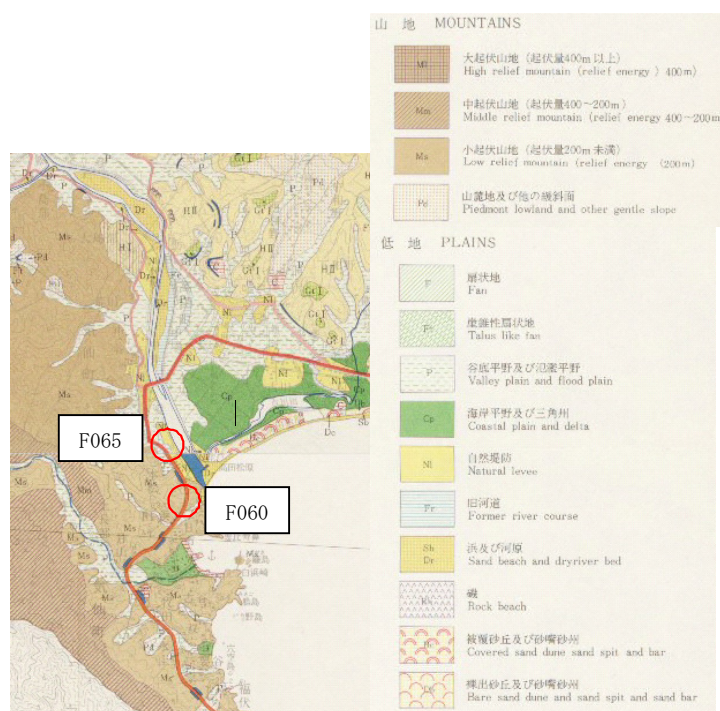


図 4-11 盛土位置の地形区分(陸前高田付近の2地点)